

飯能市健康づくりウォーキングコース 〈 名栗東地区コース③ 6,500m 〉

有間ダム(名栗湖)
埼玉県営第1号のダムとして建設されたロックフィルダム。洪水吐にはゲートを設けず全量を自然調節しながら放流できる構造になっており、主に水道用水と洪水調節を目的に使われている。周りはとても静かで一周4.5kmをゆっくり散策できる。幾重にも重なる稜線が美しい。

*湧水の水質検査は行っていません。



E 名栗カヌー工房



「雨乞いの寺」龍泉寺

昔、越生郷龍徳寺に澄む悪い龍が高山の不動尊に尾を切れ、龍泉寺の池まで逃げました。その後、龍は有間川の大淵に住みつき、恵みの雨を降らせる龍神となり農家の人々を助けるようになりました。それ以来、龍泉寺には淵の水と龍王霊印のお札をもらいに来る人々で賑わったそうです。



F レイクサイドテラス名栗湖



A さらびの湯

↑ 915m ↓

B 有間ダム

↑ 886m ↓

C 白谷沢登口

↑ 1855m ↓

D 瀬(かわうそ)橋

E 名栗カヌー工房

↑ 843m ↓

F レイクサイドテラス名栗湖

↑ 859m ↓

A さらびの湯

↑ 1142m ↓

C 白谷沢登口

白谷の泉

藤懸の滝
天狗の滝
白孔雀の滝

岩倉石から棒ノ峰へ

三つの滝を越えるとゴルジュと呼ばれる大きな岩が両側にそびえる白谷沢! 溪谷美を見ながら眺望抜群の棒ノ峰へ



さらびの湯



飯能市農林産物加工直売所やませみ

棒ノ峰
棒ノ嶺、棒ノ折山とも呼ばれる。棒ノ折山については鎌倉時代の武将・畠山重忠が秩父から鎌倉への途中、権次入沢付近で杖にしていた棒が折れたという伝説から生まれたという。

名栗地区行政センター